

令和4年度 地域貢献事業活動報告書

1 事業名称	上越地域のエネルギー環境教育の推進とそれに関わる地域ネットワークづくり
2 事業推進者等	(責任者職名・氏名) 教授・山縣耕太郎
3 学外の連携機関等	(連携機関等名) 上越市生活環境課ほか (担当者職名・氏名)
4 事業の趣旨・目的	環境問題への対応は、現代社会において極めて重要な課題であり、教育の担うべき役割も大きい。われわれ学内の研究グループは、平成 20 年から上越市が開催するみどりのフェスティバルおよび環境フェアに出展して、上越教育大学の取り組みを示すとともに、参加する行政、環境団体、企業などとの関係を培ってきた。平成 27 年度からは、市が環境フェアの運営から撤退することになったので本学有志が事務局として環境フェアの運営を引き受けることになった。この環境フェアの実施とみどりのフェスティバルへの参加が、本事業の主な内容である。環境フェアは、上越市で行われる環境に関わるイベントの中で最も規模が大きく、上越市全域から来場者がある。そのため環境における市民への啓蒙効果も大きく、上越市担当局や環境団体から大きな期待を受けている。また、両イベントにおいて参加教員のスキルを活かしたブースを開設している。
5 事業活動報告	当初、上越市が主催する緑のフェスティバルへの参加、および環境フェアの開催を行い、エネルギー環境教育に関わる普及活動、啓蒙活動行う予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大のため緑のフェスティバルは規模を縮小して秋に開催することになり、予定した活動内容の都合から不参加となった。環境フェアについても対面開催は中止となった。その代替として、環境フェアポスター展を企画して実施した。開催の目的は、ポスターの展示によって、環境フェア参加団体の活動内容を市民に知ってもらうことである。各団体が作成したポスター (A1 サイズ) を、イーゼルを用いて展示した。14 団体が参加した。同じポスターを上越科学館で行われた科学の祭典 (11 月 25、26 日) においてもポスターを展示した。 また、環境教育に関する資料、情報の収集を行った。
6 本事業で得られた成果	これまでに培ってきた地域の NPO や行政、学校とネットワークをさらに維持、拡大していくことができた。上越地域および全国のエネルギー環境に関わる情報収集を行うことができた。各団体との情報交換や、エネルギー環境教育情報センターからの情報収集は今後も継続する。 また、海岸清掃活動を実施し、そのノウハウを蓄積した。
7 その他(成果物等の名称)	

※事業の実施風景を写真撮影し、本報告書と併せて提出してください。

上越市環境フェアポスター展

実施期間：2022年5月8日～2022年11月24日

2022年11月26日～2023年3月7日

実施場所：リージョンプラザからの連絡通路

概要

上越市環境フェアは、これまで毎年、上越科学館を会場として、対面の形で開催されてきた。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を見て、今年度は開催を中止した。その代替として、ポスター展の開催を企画した。開催の目的は、ポスターの展示によって、環境フェア参加団体の活動内容を市民に知ってもらうことである。

各団体が作成したポスター（A1サイズ）を、イーゼルを用いて展示する。現在、下記14団体が参加する。さらに数団体が追加で参加をする可能性がある。

ポスター展参加団体

市民環境プロジェクト エコライフグループ
 エコ・グリーン
 フープクリエイト
 上越海上保安署
 上越環境科学センター
 カタクリの道辺
 大湊水と森公園事務所
 上越市ガス水道局
 新潟県税務課
 上越市環境保全課
 上越市生活環境課
 上越市生活排水対策課
 上越市産業立地課
 上越教育大学

環境フェアポスター展の様子



